

バイオ燃料を活用したペットフード製品の拠点間輸送を開始 CO2 排出量を約 35%削減へ

丸紅ロジスティクス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:栗原 剛、以下「当社」)は、株式会社ユーグレナ、丸紅エネルギー株式会社、篠崎運輸株式会社の4社連携により、2026年7月1日から、ペットフード製品の拠点間輸送において、バイオ燃料を活用したトラック輸送を開始しました。本取り組みでは、軽油と比較して約51%のCO2削減が可能なバイオ燃料「サステオ 51」を使用することで、特定拠点間輸送のCO2排出量を従来の軽油使用時と比べて実質的に約35%削減できる見込みです。

当社は本プロジェクト全体の取りまとめを担い、参画企業は以下の通りです(五十音順)。

- ・篠崎運輸株式会社(本社:埼玉県さいたま市大宮区、代表取締役社長:篠崎 元久)【輸送事業者】
- ・丸紅エネルギー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 康昭)【燃料販売】
- ・株式会社ユーグレナ(本社:東京都港区、代表取締役社長:出雲 充)【燃料製造】

記

1. 取り組みの背景と目的

近年、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出削減が求められるなか、当社は物流オペレーションにおける環境負荷低減を重要な経営課題の一つと位置づけています。本取り組みは、当社が運営するペット商材を取扱う物流センターでの拠点間輸送において、バイオ燃料を導入することで、CO2排出量の削減と安定的な輸送サービスの両立を図るものです。

2. 取り組み概要

本プロジェクトでは、株式会社ユーグレナが提供する混合バイオ燃料「サステオ 51(HVO51%)」を採用し、以下のスキームで運用します。

(1) 燃料調達

株式会社ユーグレナが供給するバイオ燃料「サステオ 51」を丸紅エネルギー株式会社が調達し、篠崎運輸株式会社(以下「篠崎運輸」)の岩槻営業所内の給油設備へ供給します。

(2) 輸送オペレーション

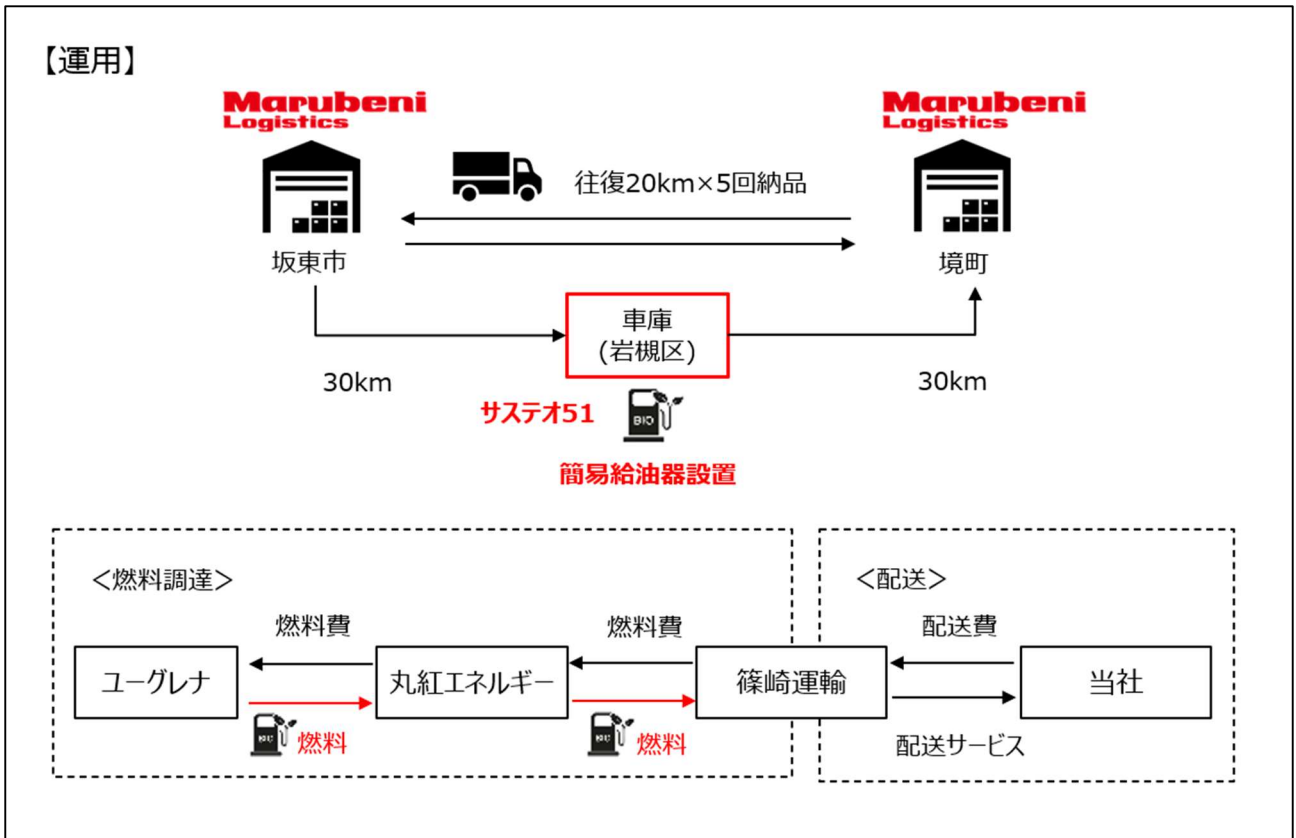
篠崎運輸は、「サステオ 51」を使用する専用トラック(10トン車1台)を用いて、当社が運営する茨城県坂東市と茨城県猿島郡境町間で、拠点間輸送を実施します。当該車両は拠点間輸送の専用車として運用します。

3. CO2 排出削減効果

本取り組みにより、当該ルートにおけるCO2排出量は、従来の軽油のみを使用した場合と比較して、約35%削減できる見込みです。試算では、当該車両1台当たり、月間約3.7トン、年間約44トンのCO2排出削減効果を見込んでいます。

※削減効果は、使用燃料、走行距離、積載条件等に基づく試算値です。

〈本プロジェクトの概要〉



4. 今後の展開

当社は、本プロジェクトで得られた知見をもとに、お客さまとの連携を一層強化し、バイオ燃料の適用拡大や他拠点・他ルートへの展開を検討してまいります。今後も、輸送効率の向上と環境負荷低減を両立するソリューションの提供を通じて、サプライチェーン全体の脱炭素化に貢献してまいります。

以上

(本件に関する問い合わせ先)

丸紅ロジスティクス株式会社
ペットソリューション営業企画部
電話:03-3219-1645

Eメール: info_pet_sb@marubeni-logi.com